

参考資料

イムス三芳総合病院における事例

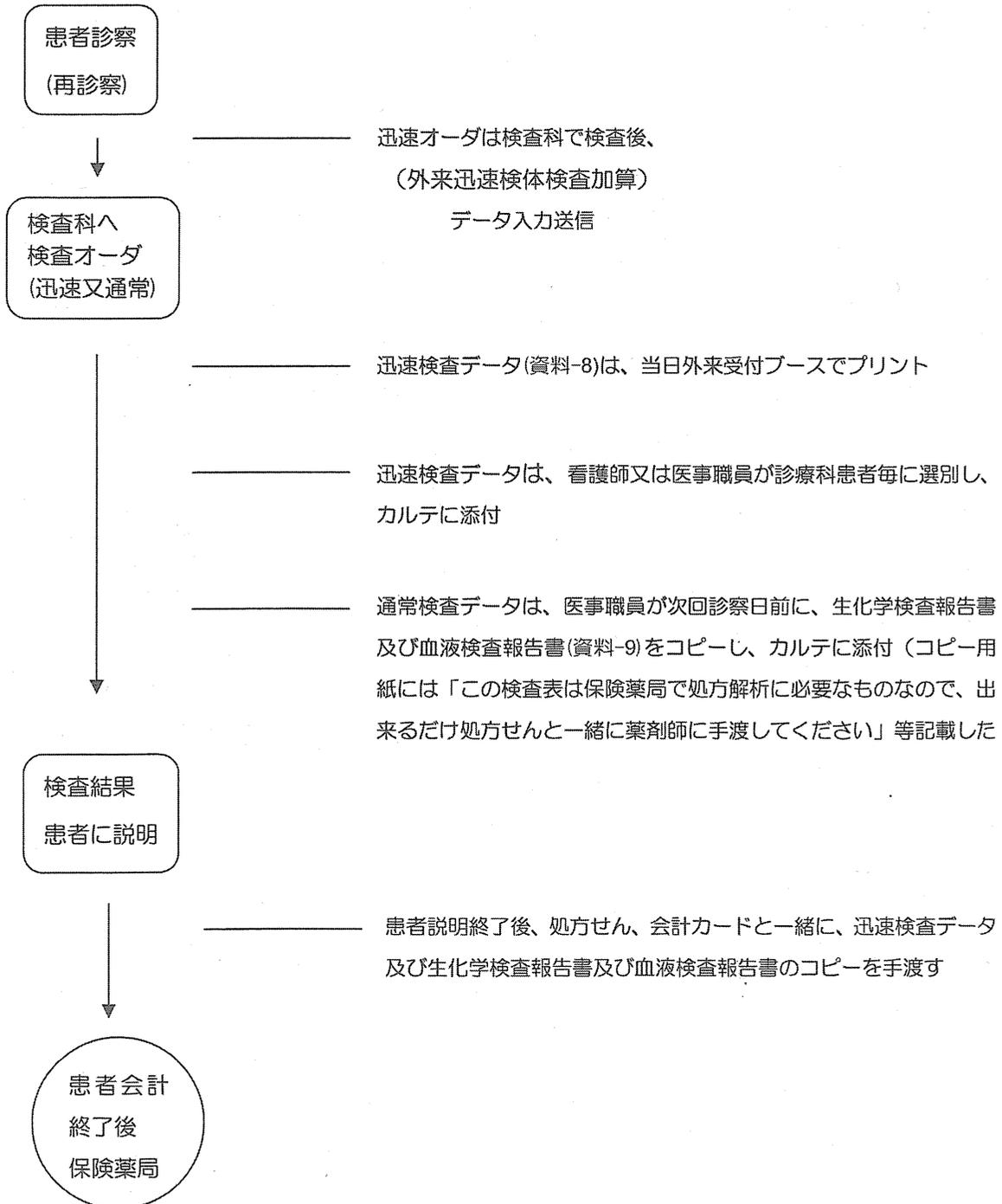


表-1 患者参加型の薬物療法の普及活動

日時	新聞等掲載	薬剤師 (研修会開催)	患者 (医療講座)
H26. 7. 9		富士見市・三芳町 薬剤師会学術講演会	
H26. 7. 11	日経		
H26. 8. 18	薬事日報		
H26. 9. 16		東北大学大学院薬学研 究科セミナー	
H26. 10. 22			公開医療講座 4)
H26. 11. 5		薬剤師のための研修会	
H26. 11. 27			公開医療講座 5)
H27. 3. 14			馬橋西ふれあい健康教室

図-1 アンケート回答者の性別 (N=48)

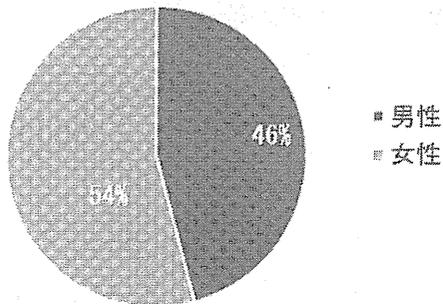


図-2 回答者の年齢構成

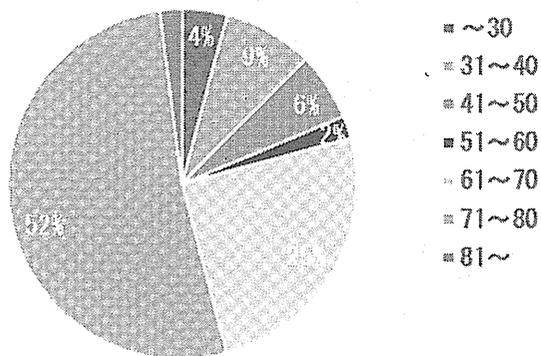


図 3-1 医療機関への受診の有無 (N=48)

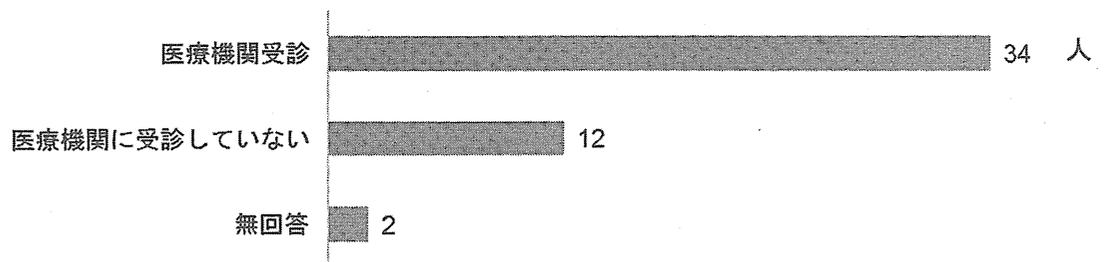


図 3-2 受診している医療機関 (N=34)

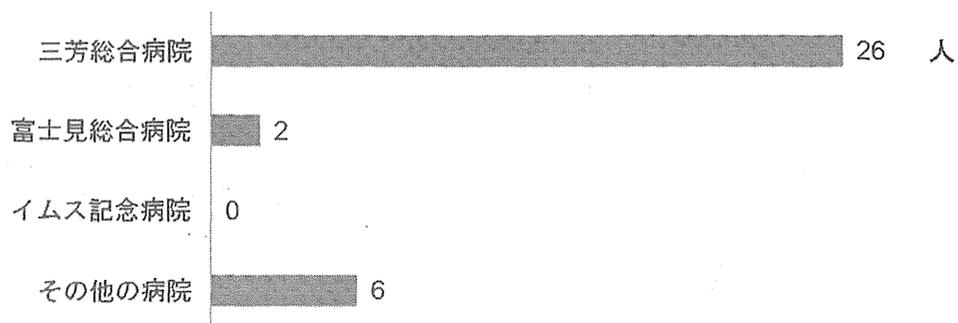


図-4 お薬の服用有無による副作用の考え方 (N=45)

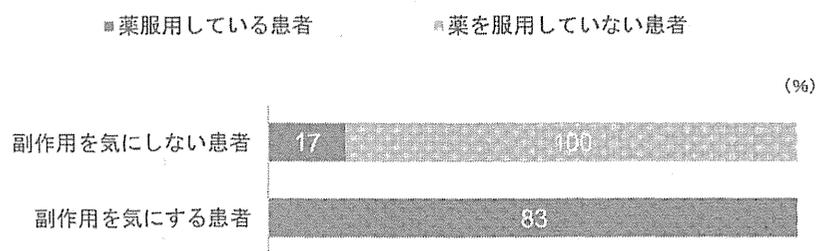


図 5 男女における副作用の考え方 (N=45)

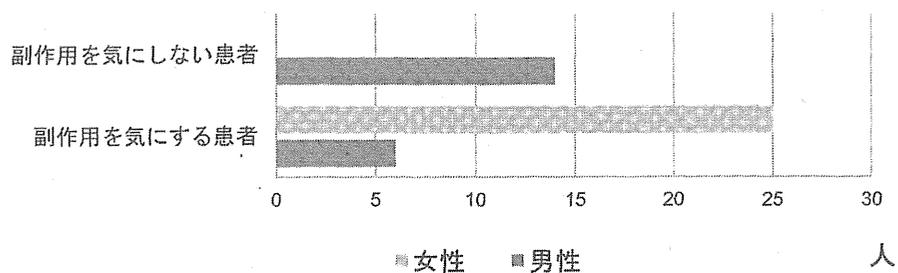


図-6 かかりつけ薬局の有無 (N=48)

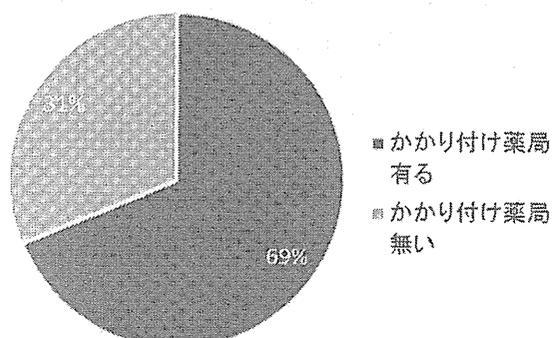


図-7 検査結果の自己確認の有無 (N=48)

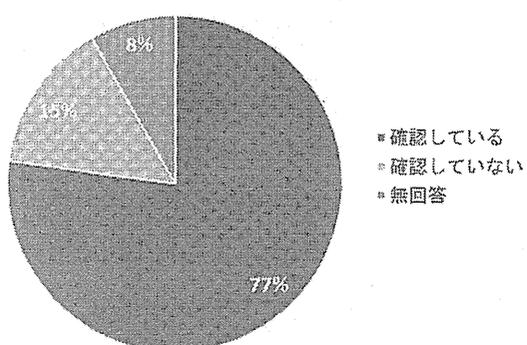


図-8 薬局において検査値についての説明の有無 (N=13)

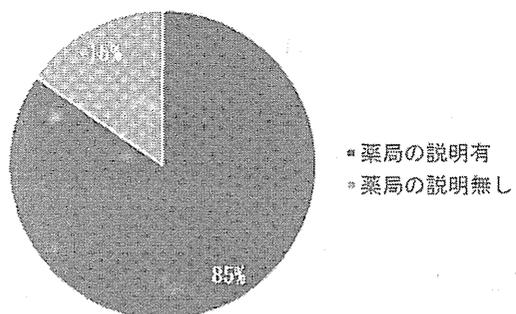


図-9 治療する上で検査結果を利用しているか (N=48)

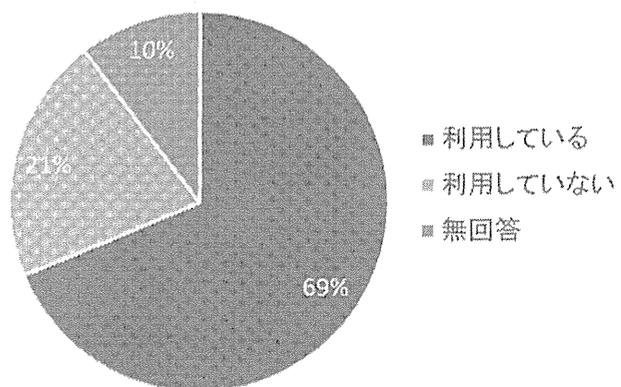
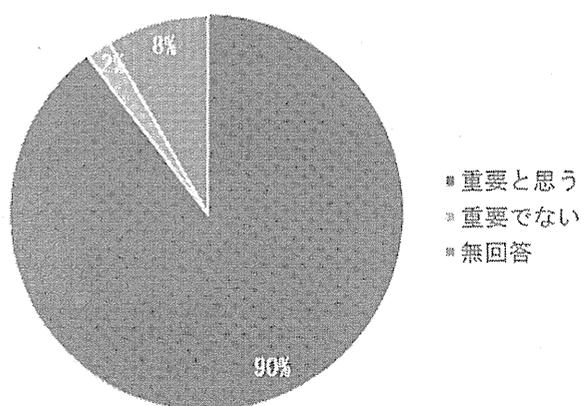


図-10 検査結果の提供を重要と考えるか (N=48)



引用文献

- 1) 厚生労働省医政局「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」 2010. 4. 30
- 2) 佐藤秀昭、他：地域医療における薬剤師の積極的な関与の方策に関する研究、平成 25 年度厚生労働科学研究分担研究報告書（研究代表者 今井博久）。
- 3) 中井清人、他：米国薬剤師の薬物療法マネージング - Collaborative Drug Therapy Management (CDTM) による取り組み. 医療薬学, 37(3), p133-143 (2011).

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料-7

国民の安心・安全なお薬の適正使用の推進のための事前調査

第4回馬橋西ふれあい健康教室で実施したアンケート調査結果

このアンケート調査は、「質の高い安心・安全な薬物療法」を提供するための薬剤師の新たな役割を検討するための参考資料として、「検査値とお薬のかかわりについて」全国調査の事前調査として実施したものです。

アンケート調査への協力者は、14人（15人中）であった。14人中12人は、1年以上継続してお薬を服用し、薬の副作用を気にかけていることが明らかになった。よって、薬剤師は、患者（住民）に安心を与える適正な服薬指導、患者情報に基づく処方変更提案（疑義照会）を介する副作用回避に今後も積極的に取り組むべきであると考えた。

ほとんどの参加者は、検査値に基づいて薬による重篤な副作用発現を防止できることを認識していなかった。このことは、研究報告書「検査結果など患者情報の共有化の構築と普及への取り組み」に記載した通り、患者から保険薬局に検査結果を提出する率が低い理由の一つと考えられる。従って、薬と検査値との関わりについて、患者（住民）がより理解することが重要であると考えられた。そのためには、地域住民を対象とし、地域に根付いた講演会開催などにより“薬と検査値等に関する啓蒙活動”の

充実化が望まれる。また、検査値から薬の種類や服用量が変わることがあるについては、知っているが9人、知らないが5人であった。この結果は、薬の代謝・排泄に影響及ぼす腎機能、肝機能などの検査値により投与薬剤や投与量を変更することを知っているのではなく、病気治療の良し悪しを判断するための検査値とし、その検査値に基づいた処方変更をイメージしていると考ええる。

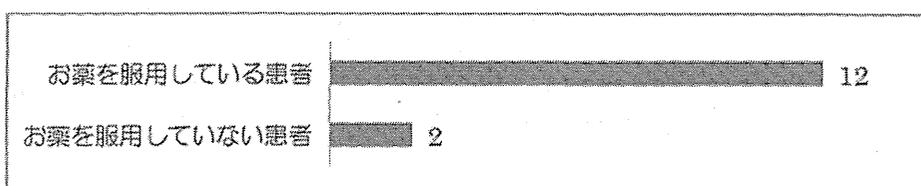
検査値が記載された用紙を薬剤師に見せることに抵抗感を感じますかの質問に、12人の患者（住民）は、抵抗感が無いと回答したことから薬剤師も医療人の一人として、認めてもらえていることが伺えた。また、ほとんどの患者（住民）は、医療機関から検査結果の提供を望んでいることが明らかになった。

このことから、地域のチーム医療の推進に向け、医療機関から外患者への検査結果などの情報提供に積極的に取り組み、また「検査結果と薬とのかかわり」などについての理解を得ることの必要性を感じました。

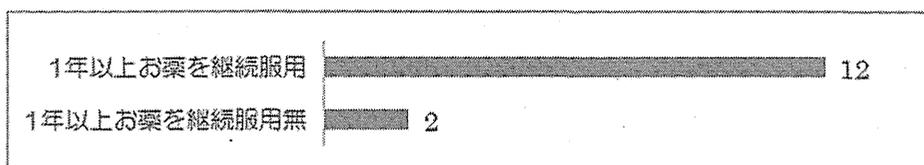
1. アンケート実施方法

平成 27 年 3 月 14 日（土）に「ふれあい健康教室」（主催：馬橋西区社会福祉協議会）の参加者 15 人に、事前に主催者をお願いした調査表を講演前に配布していただき、講演終了後主催者側が調査表を回収し提供受けた。 回収枚数 14 枚（回収率：93%）

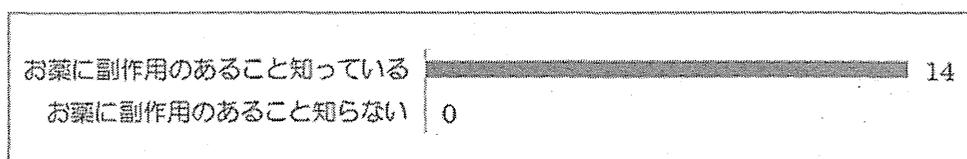
2. 現在、あなたは、医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？



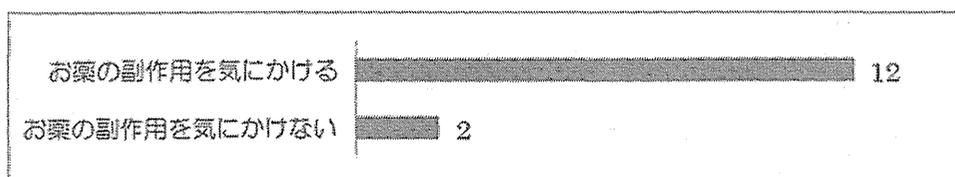
3. あなたは、1 年以上継続して医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？



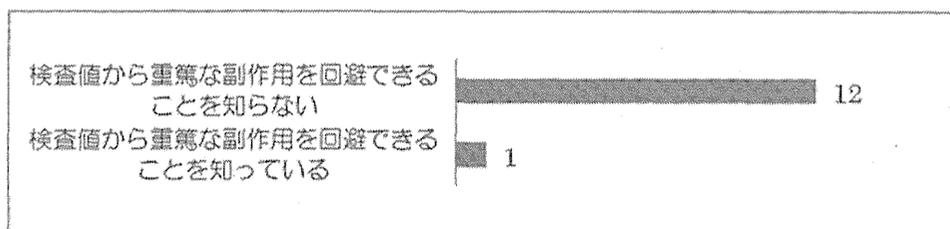
4. あなたは、お薬に副作用があることをご存知ですか？



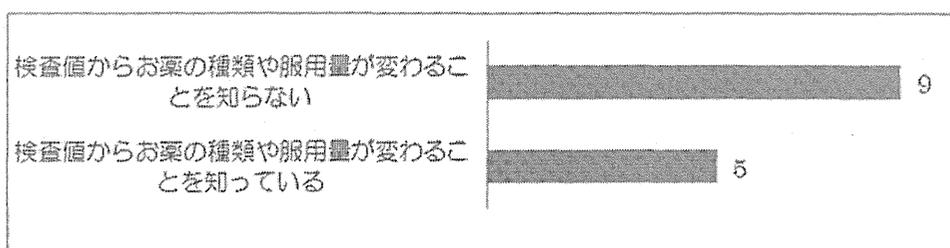
5. あなたは、お薬の副作用を気かけますか？



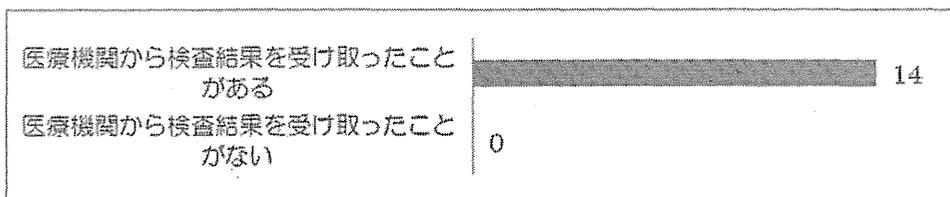
6. あなたは、検査値からお薬の重篤な副作用発現を防止できることをご存知ですか？



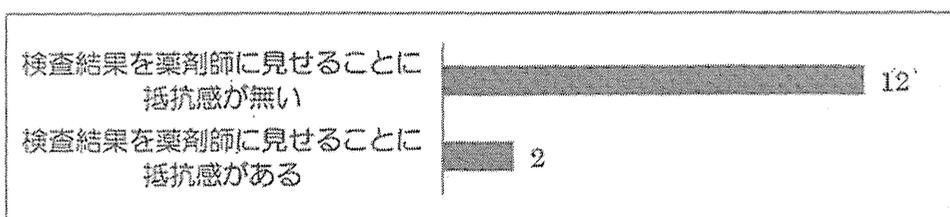
7. あなたは、検査値によってお薬の種類や服用量が変わることをご存知ですか？



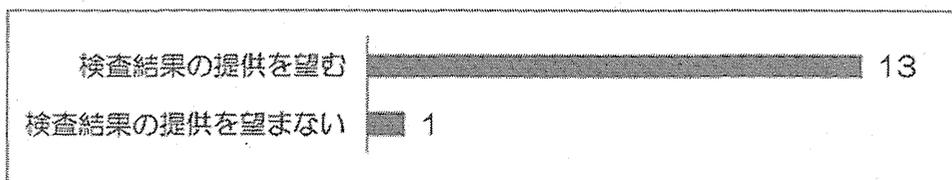
8. あなたは、病院・診療所から検査結果が記載された用紙など（検査値が記載された処方せんも含む）を受け取ったことがありますか？



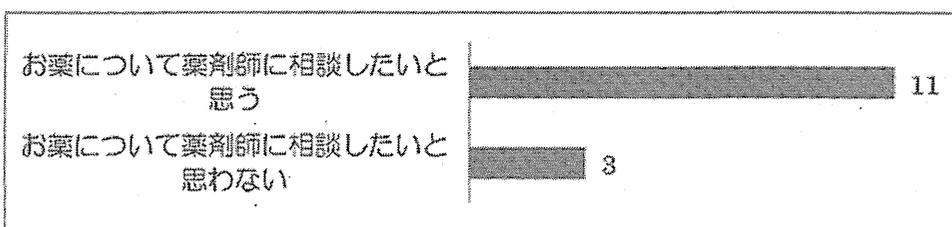
9. あなたは、検査値が記載された用紙を薬剤師に見せることに抵抗感を感じますか？



10. あなたは、病院・診療所から検査値が記載された用紙の提供を望みますか？



11. あなたは、処方されたお薬の注意すべき副作用症状や使用上の注意事項などについて、薬剤師に相談したいと思いますか？



12. これからの薬剤師の役割りなどに関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

参加者-1)：今日の話聞き検査値を見ることの大切さを知りました。

参加者-2)：最近はお医者さんより薬剤師の方がくわしい説明や症状を聞いてくれ心強いです。これからも、そのように対応してほしいと思います

「検査結果の提供」に関するアンケート調査のお願い

検査結果の報告書の運用について調査をしています。ぜひご協力をお願いします。
なお、本調査は無記名です。また、調査の結果は目的以外に利用することはありません。

調査にご同意いただける場合は、次からの質問にお答えください。

I. 設問について該当する項目を○でかこんでください。()には該当する数字を記載してください。

① あなたの性別を教えてください。

男性 女性

② あなたの年齢を教えてください。

() 歳

③ 現在、病院にかかっていますか？

はい いいえ

④ はい とお答えした方に伺います。かかっている病院を○で囲んでください？(複数回答可)

1.イムス三芳総合病院、2.イムス富士見総合病院、3.イムス記念病院、4.その他病院

⑤ 現在、医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？

はい いいえ

⑥ あなたは、お薬の副作用を気にしますか？

はい いいえ

⑦ 現在、何の病気で治療を受けていますか？。該当する病気を○で囲んでください(複数回答可)

1.高血圧症 2.糖尿病 3.喘息 4.骨粗しょう症 5.脂質異常症 6.心臓の病気

7.消化器の病気 8.白内障 9.腰痛 10.胃潰瘍 11.前立腺肥大 12.リウマチ

13.がん 14.痛風 15.脳梗塞 16.がん 17.てんかん 18.その他

⑧ あなたには、かかり付けの薬局がありますか？

はい いいえ

⑨ 病院から検査結果を記載した用紙を受け取ったことがありますか？

はい いいえ

⑩ 検査結果の報告書を処方せんと一緒に薬局に提出したことがありますか？

はい いいえ

⑪ はい とお答えした方に伺います。薬局で検査結果と処方薬について

何らかの説明を受けたことがありますか？

はい いいえ

⑫ 病院から提供された検査結果を自分で確認していますか？

はい いいえ

⑬ あなたは、提供された検査結果を自分の病気治療に役立てていますか？

はい いいえ

⑭ 病院からの検査結果の提供は、重要と思いますか？

はい いいえ

これで質問を終わります。ご協力ありがとうございました。

《提案書 提案報告書》

提案書提出日 平成 年 月 日

施設（保険薬局）名称 _____

連絡先電話番号 _____

ID 番号 _____

患者氏名 _____

患者生年月日 M. T. S. H 年 月 日

提案（疑義照会内容）

報告（緊急を要した電話での疑義照会とする）

〇〇病院 Fax. 〇〇—〇〇〇〇

資料-3

平成 26 年 第 2 回 富士見市・三芳町薬剤師会学術講演会

富士見市・三芳町薬剤師会 会長 武長 正洋
学術部理事 平野 道夫

日時：平成 26 年 7 月 9 日(水) 午後 7 時 30 分 ～ 9 時

場所：医療法人社団 明芳会 イムス三芳総合病院講堂(4 階)

《開会のあいさつ》 午後 7 時 30 分 ～ 7 時 35 分

富士見市・三芳町薬剤師会
会長 武長 正洋

I. 講演

1. 厚労研究費 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
「地域のチーム医療における薬剤師の本質的な機能を明らかにする実証研究」
の協力依頼 (資料-1) 午後 7 時 35 分 ～ 7 時 55 分

厚生労働省 国立保健医療科学院
統括研究官 今井 博久先生

2. IMS における検査結果など患者情報の共有化に向けた取り組み(案) (資料-2)
質疑応答 午後 7 時 55 分 ～ 8 時 15 分

医療法人社団 明芳会イムス三芳総合病院
薬剤部 佐藤 秀昭先生

II. 特別講演 午後 8 時 15 分 ～ 9 時 00 分

「保険薬局における検査データに基づいた処方解析」

～ 疑義照会の実際例を中心とした提案 ～

富士見市・三芳町薬剤師会 学術理事 平野 道夫

《閉会のあいさつ》

主催：富士見市・三芳町薬剤師会



写真-1 病院の薬剤師と薬局の薬剤師との合同研修会（処方解析症例検討会）

公開医療講座

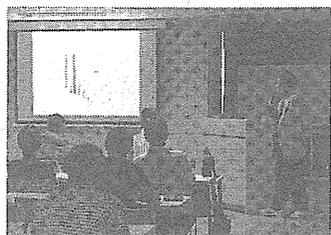
第21回

処方箋と検査報告書を提出するメリット

～患者参加型の薬物療法の推進に向けて～

担当講師

【講座内容】



薬剤部長
佐藤 秀昭

- ★お薬とは何かを理解しよう
- ★お薬の服用量と検査値のかかわり
- ★お薬の副作用と検査値のかかわり
- ★検査値と薬剤師の役割

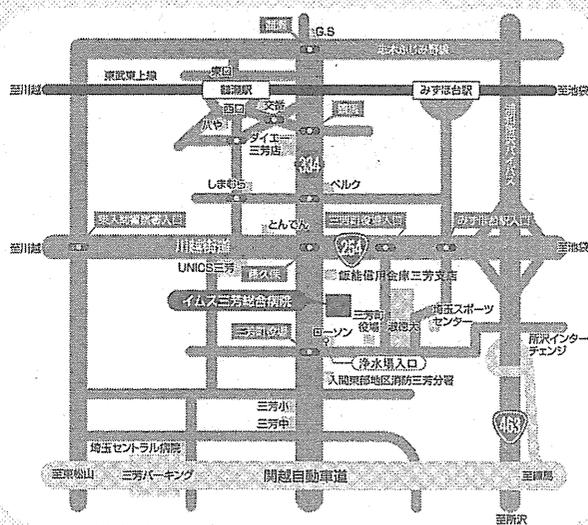
※当院では平成26年8月1日より処方箋をお渡しする際に検査報告書の提供を開始しております。

日時：平成26年10月22日(水)

時間：15時00分～16時00分

場所：イムス三芳総合病院
4階 講堂

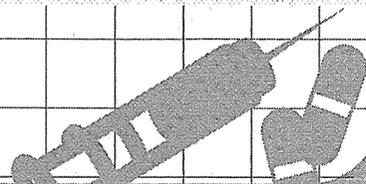
※予約制になっており定員となり次第受付を終了とさせていただきます。
ご予約は下記番号までご連絡下さい。



IMSグループ 医療法人社団明芳会

イムス三芳総合病院

予約窓口 地域医療連携室 ☎049(258)2323



公開医療講座

第22回
特別講演追加決定

「これからの薬物療法を考える」

担当講師



特別講演講師
今井博久先生

講演

1部…15:00～

「処方箋と検査報告書を提出するメリット」
イムス三芳総合病院 薬剤部長 佐藤秀昭

特別講演

2部…15:30～

「これだけは気をつけたい高齢者の薬剤処方」
国立保健医療科学院 統括研究官(医師) 今井博久先生

※当院では平成26年8月1日より処方箋をお渡す際に検査報告書の提供を開始しております。

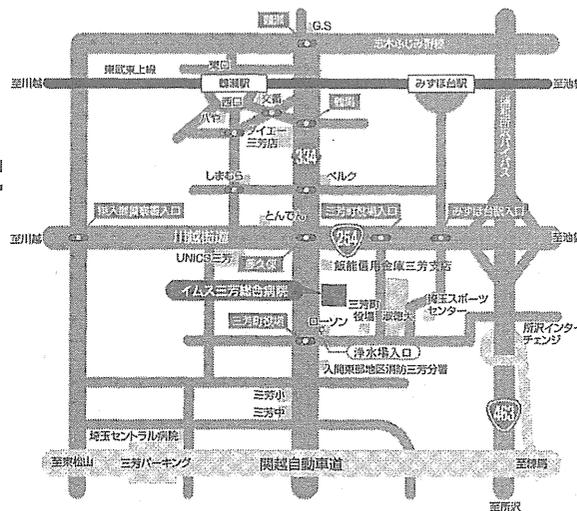
日時: 平成26年11月27日(木)

時間: 15時00分～16時00分

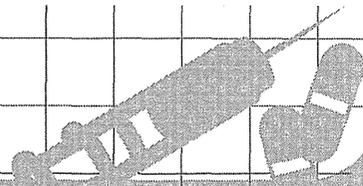
場所: イムス三芳総合病院 4階 講堂

※予約制になっており定員となり次第受付を終了とさせていただきます。ご予約は下記番号までご連絡下さい。

※急遽ではありますが特別講演が決定いたしましたので内容を変更させていただきます。

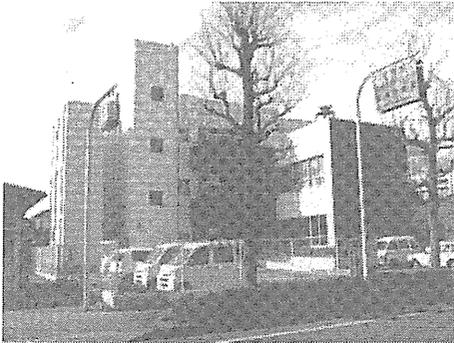


IMSグループ 医療法人社団明芳会
イムス三芳総合病院
予約窓口 地域医療連携室 ☎049(258)2323



※11月27日(木)に予定をしておりました公開医療講座の内容が変更になりましたので改めて案内を作成しております。(平成26年11月11日)

第4回馬橋西ふれあい健康教室 のお知らせ



平成27年3月14日 (土)

午前 10時30分~11時30分まで

馬橋市民センター 受講費用：無料

講演内容

『 お薬と検査値ってどんなかわりがあるの 』

講師：医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院 薬剤科長 佐藤 秀昭

『 これだけは気を付けたい、高齢者の薬物療法 』

講師：厚生労働省 国立保健医療科学院 統括研究官 今井 博久

講師紹介

今井 博久先生 ■資格…北海道大学医学部客員教授、日本衛生学会 評議員、日本公衆衛生学会、
日本医療・病院管理学会 評議員、日本内科学会
■受賞…北海道医学会賞受賞、最優秀国際フェロー賞受賞

開催場所

馬橋市民センター

松戸市馬橋蔵元町177

J R常磐線馬橋駅より徒歩9分



申込方法

ご予約は必要ございませんので、お気軽にご参加ください

主催：馬橋西地区社会福祉協議会 後援：新松戸中央総合病院

■お問い合わせ先 病院代表電話 047-345-1111 担当：地域医療連携室

I M Sグループ 医療法人財団 明理会



新松戸中央総合病院

新松戸中央総合病院広報委員会 平成27年2月

国民の安心・安全なお薬の適正使用の推進のための調査 資料-7

本調査は、検査値（注1）とお薬のかかわりについて調査し、その結果は、「質の高い安心・安全な薬物療法」を提供するための薬剤師の新たな役割を検討するための資料とさせていただきます。なお、本調査結果は目的以外に利用することはありません。本調査は無記名です。

注1)：検査値とは、病院や診療所を受診したとき、採血し検査したAST, ALTなどの肝機能、BUN, CCrなどの腎機能、コレステロール、HDL, LDL、ナトリウムなどの電解質、白血球、血小板、赤血球などの検査結果の数値のことです。

アンケート調査にご同意いただける場合は、以下の設問にお答えください。設問については、「はい、いいえ」で該当する方を○でかこんでください。

- ① 現在、あなたは、医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？

はい	いいえ
----	-----

「はい」とお答えした方に②についてお尋ねします。

- ② あなたは、何の病気で治療を受けていますか？該当する病名を○で囲んでください(複数回答可)

1. 高血圧症 2. 糖尿病 3. 喘息 4. 骨粗しょう症 5. 脂質代謝異常症 6. 心臓の病気 7. 消化器の病気 8. 白内障 9. 腰痛 10. 胃潰瘍 11. 前立腺肥大 12. リウマチ 13. がん 14. 痛風 15. 脳梗塞 16. アレルギー性疾患 17. てんかん 18. その他
--

- ③ あなたは、1年以上継続して医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？

はい	いいえ
----	-----

- ④ あなたは、お薬に副作用があることをご存知ですか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑤ あなたは、お薬の副作用を気にかけますか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑥ あなたは、検査値からお薬の重篤な副作用発現を防止できることをご存知ですか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑦ あなたは、検査値によってお薬の種類や服用量がかわることをご存知ですか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑧ あなたは、病院・診療所から検査結果が記載された用紙など（検査値が記載された処方せんも含む）を受け取ったことがありますか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑨ あなたは、検査値が記載された用紙を薬剤師に見せることに抵抗感を感じますか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑩ あなたは、病院・診療所から検査値が記載された用紙の提供を望みますか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑪ あなたは、処方されたお薬の注意すべき副作用症状や使用上の注意事項などについて、薬剤師に相談したいと思いませんか？

はい	いいえ
----	-----

- ⑫ これからの薬剤師の役割りなどに関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました